こんにちは

会社訪問記

地元に密着し、お客様に
よろこんでいただけるサービスを

株式会社キトー

（愛知県安城市）

社名／株式会社キトー　所在地／愛知県安城市新明町8-12
代表者／鬼頭節子　創業／昭和48年　従業員／15名　TEL／0566(77)7373
事業所／本社、営業所、リサイクルセンター
営業種別／収集運搬、中間処理（減容固化、破砕）
取扱い品目／燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材、感染性産業廃棄物

広々とした平野が続く安城市郊外で収集運搬、中間処理を行っている株式会社キトーに伺い、鬼頭専務取締役に事業姿勢や今後の展望などいろいろお話をしていただきました。

――最初に、創業されたのは何年でしょうか。

鬼頭専務取締役（以下鬼頭に略）『先代社長が昭和48年に鬼頭商会を発足させたのが我が社の第一歩です。初めは産業廃棄物処理を行っておらず、地元安城市の事業系一般廃棄物の収集運搬からはじめたわけです。地元密着型で丁寧な仕事を行うことが当社の事業方針ですので、現在でも当社の主なお客様は安城市エリアに集中しています。』

鬼頭専務取締役

――産業廃棄物の許可品目をかなり取得されていますが。

鬼頭『お客様からのご要望に応じて一品目づつ取得していくうちに、いつのまにか増えていたという感じです。それでも産業廃棄物は比率にすると全体の4割程ですね。』

――では話題を変えて、従業員の教育や幹部育成において特に取り組まれていることがあれば教えてください。

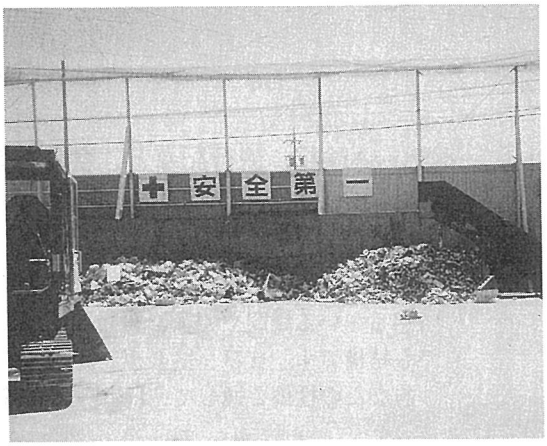
鬼頭『従業員教育としては当たり前なのですが、安全作業の徹底と注意力散漫による事故発生を防止するため、朝礼やミーティング時など機会あるごとに訓示を行っています。やはり従業員あっての会社ですし、当社に来てくれた人は大事ですから。また幹部育成においては月1回、次期経営者、幹部候補生が経営管理能力を身につけるため、日本経営幹部開発協会のセミナーに参加しています。』

――リサイクルセンターを設置されているそうですが、中間処理に参入されたのはいつですか。

鬼頭『平成5年に導入しました。当社は産業廃棄物とともに一般廃棄物の中間処理も取っていますから、いろいろ活躍していますよ。減容固化、破砕施設を効率的に稼働させ、リサイクル可能なものはできる限り回せるよう努めています。』

――最後に将来展望について聞かせてください。

鬼頭『私たちの仕事はお客様によろこんでいただくサービス業です。いかに迅速にご要望にお応えできるかで業者の資質が決まると思います。事業エリアをいたずらに拡大してサービス低下を招かないように注意し、今後も地元に密着した処理業者として成長していきたいですね。』



リサイクルセンター